

植物体内 酸化還元酵素資材

# スピリッツ

キトサン&植物性核酸



波動性の物質であると言われる核酸は、有機・無農薬栽培の大豆を乳酸菌を始めとする数種類の微生物を高度な培養方法で共棲培養の行程を経て熟成発酵し、そこで得られた発酵代謝物を抽出した液体が核酸です。

この核酸に、天然の高分子化合物であるエビ殻より抽出したキトサンを添加し、更に追熟発酵した、全く新しいタイプの植物生育促進資材が「キト核酸」です。

製造元

株式会社 **五光**

発売元

# スピリッツ(キト核酸)

## 植物細胞活性化資材

作物が土壌条件や気象、温度、水分等の環境より受けるストレスは、作物の生育を大きく左右しています。人為的にいろいろと環境を改善しても、おのずと限界があります。生育に敵しない悪い条件下では、植物体内を酸化(老化)に導くこととなります。

キト核酸は、酸化した細胞を還元(活性化)し、各種アミノ酸の形成を活発化します。アミノ酸量が増加することは、各細胞の代謝を活発にし、植物の発芽、発根、成長、結実等の促進が顕著になり、おのずと良質、増収へと導いて行きます。

### 使用方法

種子の被覆処理(浸漬)は、5,000倍液にて、15分前後として下さい。

### 葉面散布

1. 作物の生育の節目、節目(ステージの変わる時期)の散布が最も効果的です。
2. 葉面散布は、通常8,000~9,000倍液にて2週間に1回程度で使用して下さい。  
但し、広葉作物(メロン、キュウリ、イチゴ、マメ類、馬鈴薯、ゴボウ、大根、ホウレンソウ、ブドウ)等は、9,000~10,000倍液にて2週間に1回程度で使用して下さい。
3. 水稻、ネギ類、スイートコーン等は、8,000倍液にて使用して下さい。
4. 果樹・果菜・豆類9,000倍で、開花直前の散布は、特に増収になります。
5. 芝・花卉類は、8,000~9,000倍液にて10日に1回程度で使用して下さい。

### 灌水・流し込み

1. ハウス・マルチング畑での灌水時は、9,000~10,000倍にて使用して下さい。
2. 水田水口より流し込み、10a当たり100cc(20ℓ携行缶にキリ穴を開けて使用)  
(田植え後、登熟期迄に2~3回。1度水を落とし、新たに水を入れる時に行う)

### 灌水(ドブ漬け)

1. 野菜苗等の定植・移植時の苗は、9,000倍液に灌水又はドブ漬けして植え付ける。  
(出来ない場合は、植え付け前に植え穴に灌水した後に植え付ける)

### 注意

1. 多収穫になりますので、収穫に見合う追肥を早めに行ってください。
2. 水分が不足すると効果が半減します、加水・灌水は、多少多めに行ってください。
3. 農薬(特に殺菌剤)との混用時は、速やかに使用して下さい。  
尚、混用時に何らかの変化があった場合は、使用しないで下さい。
4. 濃度が濃すぎると地上部の生育が一時的に抑制されることがあります。